



ニッポン ドクター和の

臨終図巻

「一夫多妻制の確立と、風呂屋の男湯と女湯の仕切を外すこと」

これは落語家で漫談家だった月亭可朝さんが、1971年に参院選に立候補したときの公約です。69年に、「ポインはく赤ちゃんののためにあるんやで〜」の『嘆きのポイン』が大ヒット。

一世を風靡した直後のことでしたが、残念ながら（笑）、落選しています。ここまで破天荒なパフォーマンスができる芸人さんは、もう現れないでしょう。

可朝さんが亡くなったのは3月28日のこと。80歳でした。死因は急性肺腺癌と診断されています。

酸素を体内に取り入

51 落語家・漫談家 月亭可朝



おっぱいを愛した人生

長尾和宏（ながお・かずひろ） 医学博士・東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫で長尾クリニックを開業。外来診療まで在宅医療を目指す。近著「薬のやめどき」「痛くない死に方」はベストセラー。関西国際大学客員教授。

れ、同時に不要になった二酸化炭素を外に出す動きを担っているのが肺です。肺の中には、肺胞という小さな袋状のものがブドウの房のような形で付いています。

この肺胞の壁に、何らかの理由で炎症が起こり、線維で壁が厚く硬くなってしまふことを「肺の線維化」と呼びます。線維化が進むと肺がうまく広がらず、呼吸が不自由になっていき

ます。

そのため、咳き込むことが多くなり、坂道や階段を昇るときはもろろんのこと、普通に生活しているときさえも呼吸困難を感じるようになります。肺腺癌症「は」間質性肺炎」とほぼ同義の病気が考えていいでしょう。

肺が線維化する理由は、加齢の影響もありますが、ホコリやカビ、ペットの毛などを長年吸い込んでいたためだったり、薬やサプリメントなどの副作用から起こることもあり、原因を特定するのはなかなか難しいので

す。線維化してしまった肺を元に戻す治療法は、残念ながらありません。しかし、数年前に、分子標的薬という新しい薬が開発されており今後期待したいところです。

病気の進行スピードは人によってさまざまで、数年単位で徐々に進行

する人もいれば、数日から数週間で突然呼吸困難が進行して、亡くなる方もいます。

可朝さんの場合も、「急性」と死因にあるので、おそらく急性に悪化したタイプだと考えられます。しかし、これだけ破天荒な生き方をしてきた人が80歳になるまで大病をせず元気でおられたことに、むしろ驚きを禁じえません。

10年前、つまり70歳のときにW不倫をしていた相手の女性に通報されて、ストーカー規制法違反で逮捕。しかし、釈放2日後にヨリを戻したのだと自慢げに語っていたりと、可朝さんの人生は、何かいつも女性の話がつきまとう。きっと、男性ホルモン値が高かったのではないかと推測します。

昨年はなんと、『嘆きのポイン2017』バージョンをセルフカバー発売。死ぬ直前まで、おっぱいのことを考えた人生：心が若くなければ、できない生き方です。